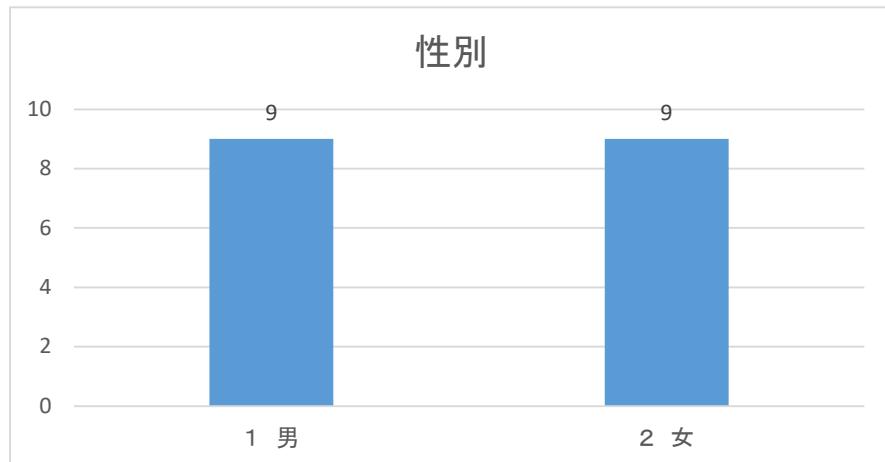


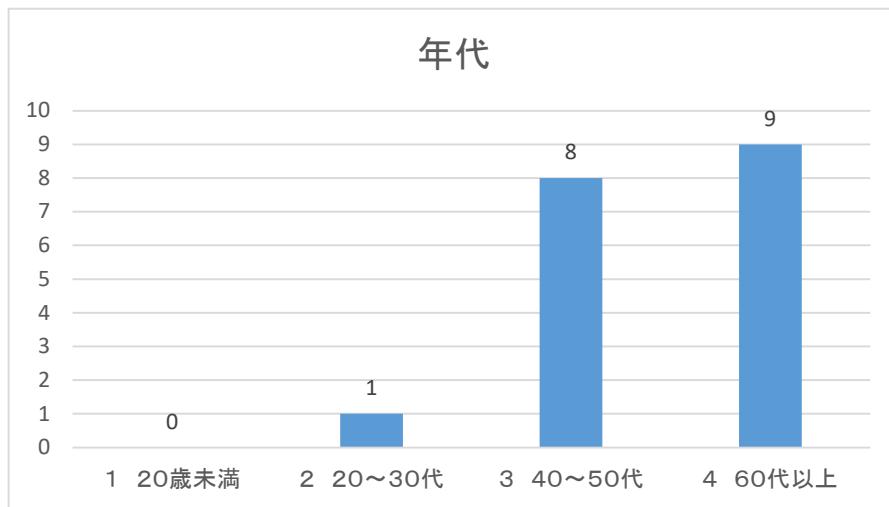
令和7年度 考えあおう 不登校 ひきこもり 冬の対話集会の参加者アンケート結果

提出者／参加者＝18／34(含スタッフ4)

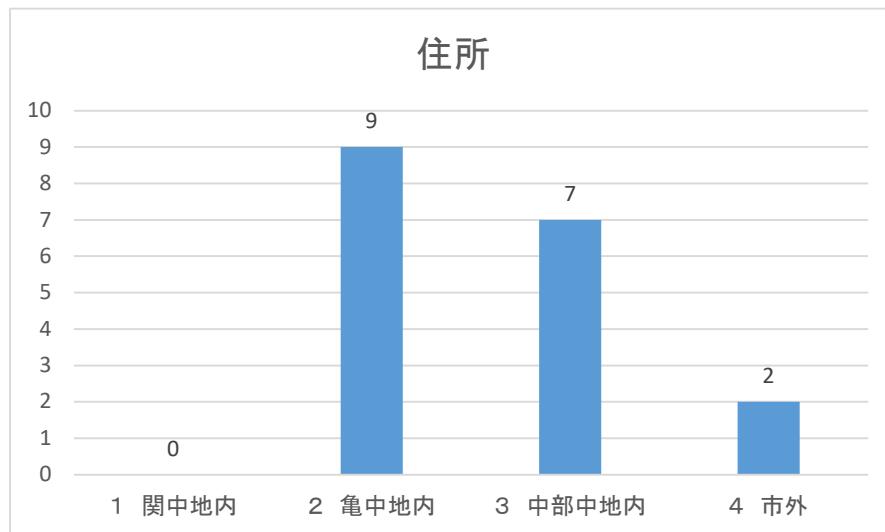
問1 性別を教えてください。



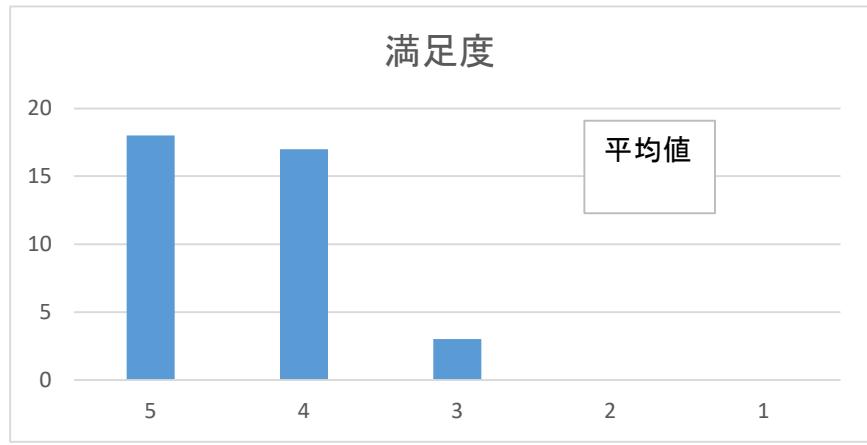
問2 年齢を教えてください。



問3 住所を教えて下さい。

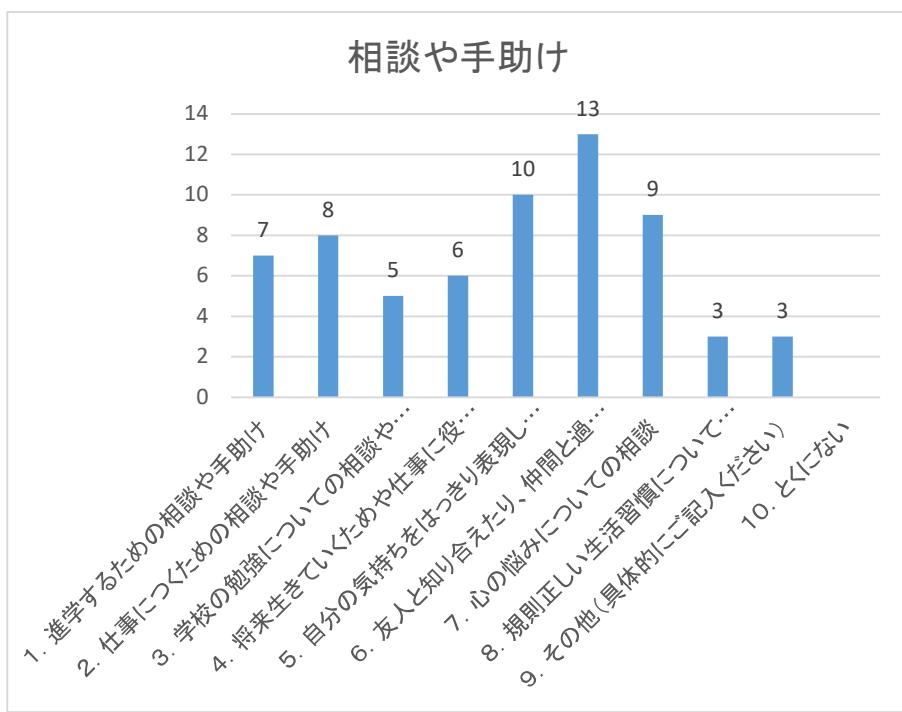


問4 今日の対話集会の満足度を聞かせて下さい。(満足度に○)



問6 不登校やひきこもりの人たちのために、次のような相談や手助けなどがあればいいのにと思ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 進学するための相談や手助け
2. 仕事につくための相談や手助け
3. 学校の勉強についての相談や手助け
4. 将来生きていくためや仕事に役立つ技術や技能の習得についての相談や手助け
5. 自分の気持ちをはっきり表現したり、人とうまくつきあったりする方法についての指導
6. 友人と知り合えたり、仲間と過ごせたりする居場所
7. 心の悩みについての相談
8. 規則正しい生活習慣についての指導
9. その他(具体的にご記入ください)
10. とくない



問6 9. その他(具体的にご記入ください)

お母さんの支援、

自分をありのままに受け止めてくれる人、聞いてくれる人

理解ある人たちの中でゆっくりと過ごせる、好きなことができる居場所

問5 今日の対話集会の感想を聞かせてください。

内藤さんの提案その後のグループ討議。いい話し合いができました。参加者が限られていたのが-1で4。次回はもう少し広げられるように…

人との信頼関係が大事だと感じました。

色々な方の話が聞けてよかったです

色々な立場の方の話が聞けて、親の方の想いを改めて知ることができた。

色々な立場の方のこえをきかせていただきこれからに生かしていければと思いました。

よい機会でした。

想い 考え を交わす喜びを久しぶりに感じました。ありがとうございました。

学校、保護者、地域のそれぞれの立場から、求めること、くみ取りたいことや方法などを話すことができた。

後援もグループワークも充実していました。

結局グループが6人グループだったので、4人とかのほうがよかったのかもしれません。すこし話足りない人がいらっしゃったかもです。

ゆっくりとお話ができるよかったです。1時間は長くなく体力的にちょうどよく、話したいことがいっぱい足りないくらいの時間でした。

「大人の想いと子どもの想いの違い」グサッと心に刺されました。

色々な立場の方の話が聞けてよかったです。2名

支援したいと思われる心がありがたいことだと思いました。

内藤さんの基調提案がとてもよかったです。不登校に対する現状の様々な問題を聞かせていただき、まだまだ知らないことばかりだと痛感しました。

問7 行政、教育委員会(学校)、亀っ子サポートなどや身近な人たちに望むことなどを自由にお書きください。

多様性を尊重した学校づくり みんなの幸せを目指しウエルビーイングな学校づくりを
教育予算の拡充

子ども、親、地域の人と対話を通して思いを知ること

行政は、子どもに係る(小中学校)予算を増やしてください。

学校、行政、地域、協力、協働を戴せて治してください。

居場所などに出てこれない、家にこもっている子、人、見えてない人たちにどのように支援を届けるか、どのようにアプローチしていくか、考えていただきたいです。

行政、学校、亀っ子サポート 福祉 いろいろな人が子どものためにつながっていくとよい。

子ども達一人ひとりが安心安全に誰も取り残さないきめ細やかなサポートされていることとても痛感しました。これからも応援しています。